



～農地を活かし、未来へつなぐ～

農業会議情報

shizuokaken nougyoukaigi report

Vol. 379

2023. 10. 20

県知事指定農業委員会ネットワーク機構

発行：一般社団法人静岡県農業会議

所在地：静岡市葵区追手町 9-18 静岡中央ビル 7F

TEL.054-255-7934・FAX.054-273-4314

< 今月の主な内容 >

I 農政対策ニュース

- ・目標地図の素案作成は一丁目一番地 就任会 宮下一郎新農相が期待 他

II 組織の動き

- ・9月の常設審議委員会等開催状況 他
- ・農業振興公社からのお知らせ

- ・「THE 農業人」 あなたの街の農業委員さん

III 農業者年金のページ

- ・新規加入者の状況 他

IV 情報のページ

- ・新聞・出版（新刊）の案内 他

V 今後の日程

I 農政対策ニュース

◇ 目標地図の素案作成は一丁目一番地 就任会見 宮下一郎新農相が期待

9月13日の内閣改造で自民党の宮下一郎氏（65、衆・長野5区）が新たに農林水産大臣に就任した。

宮下氏の入閣は初。政界きっての農政通として知られており、2003年の衆院選で初当選して以降、党では野菜・果樹・畑作等対策委員長、農林・食料戦略調査会副会長、中山間地農業を元気にする委員長、畜産・酪農対策委員長などを歴任してきた。中山間地農業ルネッサンス事業の生みの親でもある。

岸田文雄首相は「農林水産大臣は、農林水産行政に精通した宮下一郎さんをお願いした」と起用理由を述べた。

翌14日の就任会見で宮下新農相は、各地域で策定に向けて動き出している地域計画について「地域の10年後の農業の在り方を明確化する地域農業の設計図として大変重要なもの」との認識を示し「各地域の取り組みが着実に進むように地方自治体などと連携しながら親身になって後押しをしていきたい」と述べた。

また「農業委員会や農地バンクなどの果たすべき役割はますます大きいと感じている」と強調。「農業委員会の皆さまが農地の将来の目標地図の素案を作成していただくこと、これが今、一丁目一番地、重要な取り組みであり、農地バンクにはこの目標地図に基づいて農地の集積・集約化を進めていくという重要な役割を担っていただく」と期待を示した。

◇ 鈴木、武村の両氏 副大臣 高橋、舞立の両氏 政務官

岸田政権は9月15日、副大臣と政務官人事を発表した。農水省では、農林水産副大臣に自民党の鈴木憲和氏（衆・山形2区）と武村展英氏（衆・滋賀3区）、農林水産大臣政

務官に公明党の高橋光男氏（参・兵庫）と自民党の舞立昇治氏（参・鳥取・島根）が就任した。

◇ 農委会の「まとめ役」に期待 国井会長、宮下農相を表敬訪問

全国農業会議所の国井正幸会長は9月15日、新たに農林水産大臣に就任した宮下一郎農相を表敬訪問した。

国井会長が「（食料・農業・農村基本法の見直しの）大変な節目の年ですが、がんばってください」と激励すると宮下農相は「はい」「地域計画もまさに今年、来年が一番大事な時期ですから」と応じた。これに対し、国井会長は「しっかりと、われわれも付託に応じて全力でやらせていただきます」と決意を表明した。宮下農相は「（農業委員会は）地域の皆さんの話し合いの一番のまとめ役」と期待を示した。

◇ 総合経済対策 岸田首相、取りまとめ指示 農林水産品輸出拡大など

岸田文雄首相は9月26日の閣議で燃料油価格、電気・ガス料金の激変緩和措置や農林水産品の輸出拡大などを柱とする総合経済対策の取りまとめを指示した。同日に開催した経済財政諮問会議で岸田首相は「今後、精力的に検討を進め、10月末をめどに取りまとめる」と述べ、その後は速やかに補正予算の編成に入る考えを示した。

宮下一郎農相は同日の定例会見で、岸田首相が具体的に指示した農林水産品の輸出拡大について「しっかり取り組んでいきたい」と述べた。また、燃料油価格、電気・ガス料金の激変緩和措置については「さらに農林分野で何をすべきかというのをしっかり総理のご指示を踏まえて検討していきたい」とした。

◇ 農水省 「食料安定供給・農林水産業基盤強化に向けた緊急対応パッケージ」を決定

10月13日、「食料安定供給・農林水産業基盤強化本部」が開催され、「食料安定供給・農林水産業基盤強化に向けた緊急対応パッケージ」が決定された。

岸田政権が掲げる「農林水産物・食品の輸出促進」「農林水産業のグリーン化」「スマート農林水産業等による成長産業化」「食料安全保障の強化」の4本柱について、緊急的に取り組むべき対策を取りまとめ、今後、本パッケージの取りまとめ内容が確実に実施されるよう経済対策へ反映させ、年末までを目途に食料安全保障強化政策大綱の改訂を行うものとされている。

主な内容は、1. 農林水産物・食品の輸出促進 2. 農林水産業のグリーン化 3. スマート農林水産業による成長産業化 4. 食料安全保障の強化（①過度な輸入依存からの脱却に向けた構造転換 ②生産者の急減に備えた生産基盤の構造転換 ③国民一人一人の食料安全保障の確立に向けた食料システムの構造転換）。

農業委員会関係では、4. ②の→将来の生産者の減少に備えた経営構造の確立（農業者が急速に減少する中で、農地を集約し地域の農業を担う経営体の機械等への追加投資の負担軽減等への支援）→省力化に対応した基盤の整備・保全（ほ場の大区画化、水利施設の省力化や集約・再編等） 4. ③の→適正な価格形成と国民理解醸成（コストを反映した価格形成の取組を促すための調査・検証、持続可能な食料システムの構築に向けた国民理解の醸成等）等である。

◇ 2023 年上半期 農業景況指数▲32.2 酪農、肉用牛 大幅マイナス

日本公庫農林水産事業は9月21日、2023年上半期（1～6月）の農業景況指数（D I）が▲32.2 となったと公表した。前年実績から6.9 対上昇したが、マイナス値が継続する結果になった。業種別では特に酪農（北海道▲67.1）、肉用牛（▲61.4）で大幅なマイナス値になった。

23年の農業景況D Iの通年見通しは▲31.3 で、引き続きマイナス値が続く見込みとなった。

23年上半期の生産コストD Iは▲86.3。大幅なマイナス値が継続する結果となり、全業種で▲60 以下の大幅なマイナス値となった。

「設備投資予定あり」の比率は52.8%で、22年からほぼ横ばいで推移した。業種別では最も高い稲作（都府県）が6割に達する一方で、酪農（北海道）と肉用牛は4割を下回った。

同公庫が融資先の担い手農業者を対象に調査し（有効回答数5320）、レポートを取りまとめた。

◇ 生産者の努力を反映した価格に 宮下農相みらい米市場に言及

宮下一郎農相は10月3日の定例会見で、16日から取引が開始される「みらい米こめ市場」について「生産者の努力や品質を反映した価格形成が行われることを期待する」と述べた。

みらい米市場は新たに開設される米の現物市場で、米の生産者、集荷事業者、卸売業者、実需者などが参加し、オークション形式・注文方式で米を売買する。

宮下農相は「みらい米市場では、生産者の皆さまが自分で価格を決めて販売できる」「産地や品種銘柄だけでなく、品質や付加価値を含めて価格に反映されるよう、生産履歴やGAP（農業生産工程管理）認証を受けているなどの生産者の情報も開示できる」と述べ、需給状況だけではなく、生産コストや付加価値などを踏まえて米価が決定されるよう期待を示した。

◇ エルニーニョなど影響で暖冬見通し 気象庁

気象庁は9月19日、冬（12～2月）の気温が東・西日本と沖縄・奄美で高く、北日本で平年並みか高いとの見通しを明らかにした。

地球温暖化やエルニーニョ現象などの影響で気温はほぼ全国的に高く、日本海側の降雪量は少ないと見込んだ。降水量は東日本太平洋側と西日本で平年並みか多いと予想した。ただ、この時期の天候を左右する北極振動の予想は難しく、現時点で考慮できていないため、気象庁では1カ月予報など常に最新の情報に注意するよう呼びかけている。

II 組織の動き

◇ 9月の常設審議委員会

県農業会議は9月22日に静岡市の静岡中央ビルで定例の常設審議委員会を開いた。下表の農地法等に基づく諮問案件について、許可相当として答申した。審議では、タブレットを活用した。



タブレットを活用した常設審議委員会の様子

【議事】農地法等に基づく諮問 (件)

法律別 市町別	農地法		農振法
	4条	5条	15条の2
浜松市		3	
富士市		1	
牧之原市	1		
吉田町		1	
合計	6		-

(注) 諮問案件はすべて同一目的の申請に係る農地面積が30a超

◇ 農地利用最適化の推進に関する農業委員会巡回を行う

10月11日に藤枝市農業委員会巡回を県農業振興公社理事長とともに行い、藤枝市農業委員会会長、事務局長他と委員会の取組状況や問題点の情報共有を行った。

地域計画と目標地区の策定状況、下限面積要件の廃止、農業委員会サポートシステム、農地利用最適化交付金等の意見交換を行なった。

意見交換の内容を共有し、今後の県農業会議の活動に生かして行く。



藤枝市農業委員会巡回の様子

◇ 静岡県農業委員会職員協議会第 73 回定期総会及び職員中央研修会を開く

■ 第 73 回定期総会

県農業委員会職員協議会は、9月26日に第73回定期総会を静岡市の県男女共同参画センターあざれあで開いた。総会は各市町農業委員会職員14人が出席した。

来賓の県農業会議の西ヶ谷量太郎会長と県農業局の笠井大輔技監から挨拶をいただいた。

次に、農業委員会職員表彰を行った。表彰は農業委員会事務局に通算10年以上勤務し、委員会の業務推進に多大な貢献をされた方を県農業会議が表彰するもので、今年度は富士宮市農業委員会の望月伸浩次長を表彰し、西ヶ谷会長から表彰状が授与された。

総会は、令和4年度事業報告、収支決算、令和5年度事業計画、収支予算、役員改選について上程し原案どおり可決された。

新しい役員は、会長に三島市農業委員会の小林和弘事務局長、副会長に島田市農業委員会の山本敏幸事務局長並びに森町農業委員会の長野了事務局長、監事は小山町農業委員会の湯山光司事務局長と掛川市の松永真也事務局長が選任された。

■ 中央研修会

総会に引き続き、職員中央研修会を開催した。研修会は、一般社団法人ファシリテーター普及協会の小野寺郷子副代表を講師にファシリテーションの手法について、「農業委員と農地利用最適化推進委員のやる気をさらに引き出そう」をテーマに研修を行った。

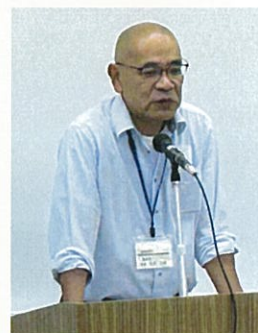
対話に必要なことは相手を他者と認めること、変化を求めること、分からないことを質問することで、相手を尊重し、信頼でき、関心を持つことにつながるなどと説明があり、その後、各グループに分かれ、ファシリテーションを活用した話し合いを進める手法について学んだ。現在、進められている地域計画の話し合いを進めるに当たり役立つと思われる。



職員中央研修会の様子



挨拶する御前崎市の矢坂副会長



祝辞を述べる西ヶ谷会長と笠井技監



表彰状を受け取る富士宮市の望月次長



挨拶する新会長の三島市の小林事務局長

◇ 営農型太陽光発電事業に係る研究会（事務研究）を開く

県農業会議は標記研究会を9月22日に静岡市の静岡県庁別館会議室で営農型太陽光発電事業に係る研究会（事務研究）を開いた。研究会には、市町農業委員会と農林事務所の担当者の合計13人が出席した。

7月に開催した研究会のアンケート結果を踏まえ、本年度の営農型太陽光発電事業に係る研究会のテーマについて意見交換を行い「一時転用期間が10年、3年以内となっているが10年や3年でなく、短くする場合の基準」について進めていくこととした。

その他、作物別の栽植密度と目標単収（参考）及び営農型発電設備の下部の農地における農作物の状況報告時の指導については、今後意見交換のもと進めていくこととした。



営農型太陽光発電事業に係る研究会の様子

◇ 静岡県農業委員会職員協議会農政要望研究会を開催

県農業委員会職員協議会は、農政要望研究会を9月26日に静岡市の静岡県男女共同参画センターあざれあで開いた。研究会には各地区の役員等9人が出席した。「令和6年度静岡県農業施策に関する要望（案）について」協議し、意見交換を行った。



農政要望研究会の様子

◇ 農業委員・推進委員向けファシリテーション基礎研修会 賀茂、中部地区で開催

県農業会議と県は、地域計画の策定に向けた話し合いのスキル向上のため、農業委員・農地利用最適化推進委員等を対象に、8月23日に賀茂地区、25日に中部地区でファシリテーション基礎研修会を開いた。賀茂地区では河津町、下田市、松崎町の委員など21人が参加した。中部地区では小山町、静岡市の委員など25人が参加した。

地区	開催日	場所	参加者・人数
賀茂	8月23日(水)	河津町・保健福祉センター	河津町農業委員会、下田市農業委員会、松崎町農業委員会など 計21人
中部	8月25日(金)	静岡市・商工会議所	小山町農業委員会、静岡市農業委員会など 計25人

元茨城県東海村農業委員会事務局長で地方考夢員研究所所長の澤畑佳夫氏を講師に、『地域計画の策定と思いをカタチに出来る「座談会」の開き方』と題して、地域計画作りで必要なことや、進め方のポイント等について研修した。後半はグループ

に分かれてファシリテーションを活用した座談会の話合いを体験し、雰囲気づくりの大切さや話し合いを盛り上げる様々なテクニック等について学んだ。

参加者からは「話し合うためには楽しく対話する重要性に気づいた」「行政と地域が対立しないように、同じ方向を向いて同じくらい本気で取り組む必要があると思った」「今までこのような方法で話し合いを進めたことがなくとても興味深かった。参加する前のイメージと違い驚いた」などの感想があった。



賀茂地区の様子



中部地区の様子

◇ 地域計画策定のためのスキルマスター研修会を開催

県農業会議と県農業ビジネス課は、市町や農業委員会が円滑に座談会を運営できるよう、ファシリテーション技術の習得を目的に7月から月1回のペースでスキルマスター研修会を開催している（全5回コース）。これまで、7月18日（火）、8月29日（火）、9月12日（火）、10月17日（火）と計4回静岡市内で開催。主に市町の地域計画担当者や農業委員会事務局職員、県農林事務所職員等を対象に、述べ76人が参加した。

研修では(一社)会議ファシリテーター普及協会（MFA）代表理事の釘山健一氏を講師に、1～3回目までが「全員発言するMFA型座談会の極意」として、雰囲気作りや、仕組みに



講師の釘山氏

よる全員発言方法等について学び、4回目は「地域計画策定の極意」として、地域の意見を聴いてそれをもとに計画を創る方法などについて学んだ。

最終回となる次回は11月17日（金）に静岡市のもくせい会館で実施予定。



スキルマスター研修の様子

◇ 農業委員会サポートシステム操作研修会（上級）を開催

県農業会議は、9月19日と20日に静岡市の清水テルサで、農業委員会サポートシステム操作研修会（上級）を開催した。

市町農業委員会の職員等延べ29人が参加した。

講師は2日間で全国農業会議所農地組織対策部の大川真司考査役と海藤洋平考査役、平松啓介主査の3人。

同システムにおける住基・固定照合や地域計画・目標地図の作成方法などの操作方法について研修したほか、グループに分かれて情報交換を行った。



研修会の様子

◇ 農業者年金個別相談会実施

県農業会議は、10月16日に伊豆の国市役所で個別相談会を開いた。相談者に制度全般について本会職員が相談に応じた。

◇ 農業者年金戸別訪問の実施

県農業会議は、10月17日に御前崎市で農業委員会が実施する戸別訪問に同行した。検討中の方もあり、今後の推進に期待したい。

◇ 都道府県農業会議会長会議並びに農政対策委員会が開催される

令和5年10月12日 全国農業会議所は東京都の主婦会館プラザエフにおいて、都道府県農業会議会長会議並びに農政対策委員会を開催し、本会からは会長及び事務局長

が出席した。

■ 会長会議

会議の協議事項は、①令和6年度農林・農業委員会関係予算要求等 ②令和6年度税制改正要望 ③令和5年度全国農業委員会会長代表者集会、農業者年金加入推進セミナー ④情報事業の推進であった。また、農業委員会組織を巡る情勢は下記のとおりであった。

- 食料・農業・農村基本法の改正案が年明けの通常国会に上程
- 農地関連法制の見直し
 - ・ 農地法第3条に権利取得者の「属性」→「転売ヤー」禁止
 - ・ 営農型太陽光発電事業の不適切事案への厳正対処
 - ・ 農地所有適格化法人の出資規制問題
- 地域計画策定
 - ・ 地域の実情に応じた現実的な対応

地域計画の策定の留意事項の最新版が下記資料にあるので参考にされたい。

『「地域計画」策定に当たっての留意点』 令和5年9月

<https://www.nca.or.jp/tosho/wp-content/uploads/tiikikeikaku.pdf>

■ 農政対策委員会

「改正・食料・農業・農村基本法」の基本となる「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」について、農林水産省 杉中統括審議官から説明があった後、意見交換が行われた。

展開方向では、①平時からの国民一人一人の食料安全保障の確立 ②環境等に配慮した持続可能な農業・食品産業への転換 ③人口減少下でも持続可能で強固な食料供給基盤の確立を柱としている。

農業委員会関係では、③の中で「地域の話合いを基に、担い手に加え、多様な農業人材も参加して地域の農地を保全・管理し、持続的な生産につなげる」としている。

◇ 雇用就農資金令和5年度第2回採択者が決定、第3回募集が始まる

雇用就農資金の令和5年度第2回（支援期間：令和5年10月1日～9年9月30日最長）の採択者は26経営体、35人で応募者全員が採択された。採択者を対象とした事業説明会・雇用就農者育成強化セミナーは、11月13日に県産業経済会館で開催する。

令和5年度雇用就農資金採択者数

募集回	静岡県		全国	
	経営体数	雇用就農者数	経営体数	雇用就農者数
第1回	13	15	311	361
第2回	26	35	717	916
計	39	50	1,028	1,277

※ 採択者数は、雇用就農者育成・独立支援タイプと新法人設立支援タイプの合計

また、第3回募集は令和5年10月25日～11月30日（支援期間：令和6年2月1日～10年1月31日）の期間に開始される。

募集要項、応募フォーム URL

https://www.be-farmer.jp/farmer/employment_fund/original/

問合せ先：県農業会議 Tel.054-255-7934

◇「地域計画 話し合いの手引」が発行される

全国農業会議所から「農業委員・推進委員の皆さんへ 地域計画 話し合いの手引」が発行された。

地域計画 目標地図の素案づくりに役立つと思われるので紹介する。

主な内容は、①地域計画とは ②地域の話し合いに参加しましょう ③目指そう！開かれた話し合い ④地域にあった話し合いをしましょう ⑤プレゼンテーション方式での話し合い ⑥事例紹介 1 千葉県香取市農業委員会 ⑦ワークショップ方式での話し合い ⑧事例紹介 2 山形県朝日町農業委員会 ⑨役立ち！工夫例

A5判 24頁 220円 ※ 申込は県農業会議まで



静岡県農地バンク(静岡県農業振興公社・農地中間管理機構)からのお知らせ

令和5年度農地バンク事業貸付実績(9月末時点)

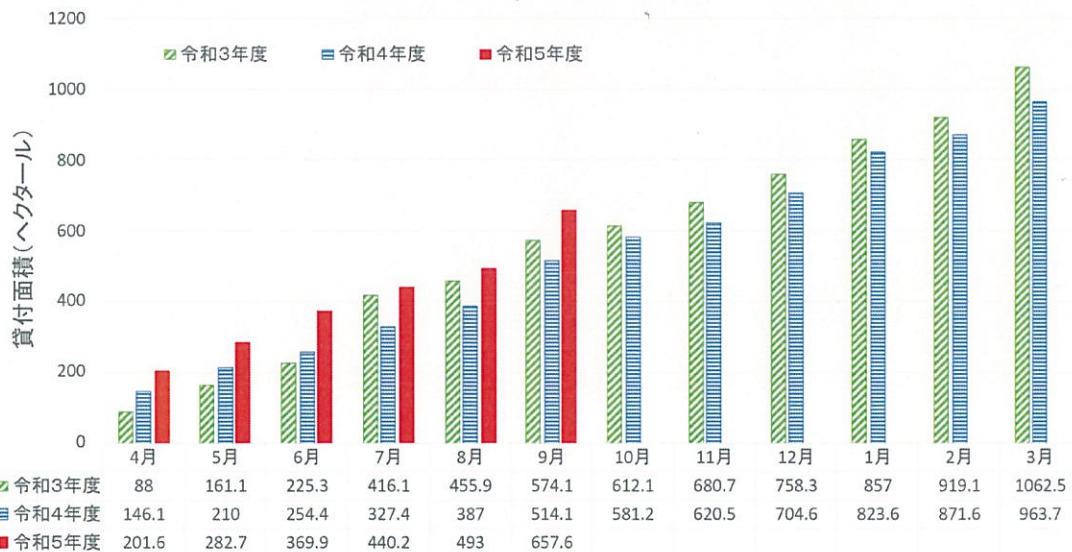
(単位: ha)

市町名	目標面積	9月末実績	市町名	目標面積	9月末実績	市町名	目標面積	9月末実績
下田市	2	0.1	裾野市	4	3.5	川根本町	6	0.1
東伊豆町	2	1.0	清水町	0		牧之原市	54	21.3
河津町	2		長泉町	3	1.5	吉田町	10	5.9
南伊豆町	4		御殿場市	0	16.9	志太榛原地域	185	140.1
松崎町	3		小山町	12	12.7	御前崎市	21	17.3
西伊豆町	1		東部地域	129	70.6	菊川市	23	25.1
賀茂地域	15	1.1	富士宮市	50	17.6	掛川市	87	101.4
熱海市	1	0.3	富士市	50	3.1	磐田市	205	209.0
伊東市	3	1.2	富士地域	100	20.6	袋井市	24	2.7
三島市	52	10.4	静岡市	58	17.8	森町	3	1.1
函南町	0	5.0	中部地域	58	17.8	中遠地域	363	356.6
伊豆市	2	1.1	島田市	40	18.6	浜松市	132	48.2
伊豆の国市	9	2.3	焼津市	35	33.2	湖西市	18	2.5
沼津市	43	15.7	藤枝市	40	61.0	西部地域	150	50.7
						県計	1000	657.6

※ラウンドにより合計値は一致しないことがあります。

農地バンク事業の月別取組状況(令和3年~令和5年)

農地バンク事業の貸付(配分)面積





～ 趣味や日頃の思いなど自由に書いてもらいました ～

掛川市農業委員会 会長 鈴木 昇さん

農業は、土地を利用し施設や設備を活用し、どんな作物を栽培管理し、どんな品質で誰に届けるのか？評価はどうなるのか？ コストをかけ手間ひまかけどれだけ評価される？

圃場でいつものように収穫できるための工夫と努力を積み重ねる。それでも報われないから耕作放棄は起こる。儲からないから就農人口は増えない。気候もニーズも変化しているのに 家はこの地区は〇〇を作る処と変化を嫌う。もっと自由に農業を営もう。収穫の喜びを味わおう。笑顔あふれる産業に。こんな感じで農地と向き合っています。



伊豆の国市農業委員会 会長 鈴木宗雄 さん

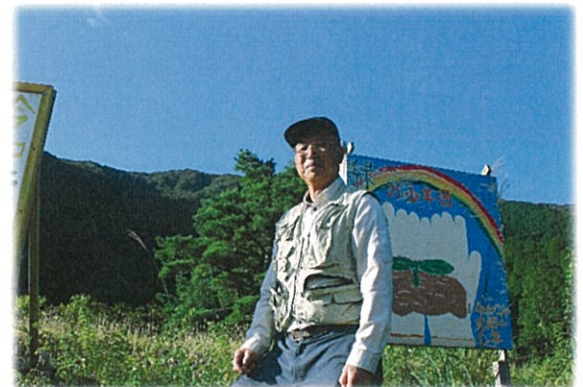
10代の頃病弱だった私は、成人過ぎで花作りを始め、陽を一杯浴びていつの間にか元気になれたと思います。思い起こせば幼い頃、父から貰ったハーモニカで音楽に興味がわき、時を経て合唱公演で2時間歌えた感動は、生涯忘れ得ぬ宝です。昨年、金婚を元気に迎えられたのも、花や音楽からパワーをもらい健康を取り戻したからです。詳しくはないですが、花・音楽療法があるように、私の経験を元に「花育」や地域での寄せ植え教室を開催しています。農業の仕事は後継者の息子達が引継ぎ、頑張って取り組んでいます。



小山町農業委員会 会長職務代理 池谷弘さん

小山町農業委員会では、耕作放棄地に蜜源作物の栽培を行う「秘蜜の花園作戦」を展開しており、個人的にも受託地を増やして耕作放棄地の解消を目指しています。今後の農業のため、ドローンの利用、密苗栽培等の新技術も導入を進め、仲間達と新品種のコシヒカリの導入検討を進めていきます。

その他、北郷小学校の「緑の少年団」と一緒に、クヌギ等の植林・草刈りを数十年間行っており、これらの活動を通して子供たちが今後も少しでもこの町を愛していつてもらえたらと思っています。



■■ 本県における農業者年金の加入推進について ■■

☆令和 5 年度の新規加入者の実績

		令和 5 年 9 月	目標	(累計) 令和 5 年 4~9 月	
				実績	達成率
本 県	加入者数	1 人	80 人	21 人	26.3%
	20~39 歳	1 人	54 人	10 人	25.6%
	女性		45 人	6 人	13.3%
全 国	加入者数	86 人	3,022 人	878 人	29.0%
	20~39 歳	46 人	1,724 人	527 人	30.1%
	女性	27 人	1,025 人	283 人	27.6%

※浜松市 1 人

☆農業者年金加入推進特別研修会開く

県農業会議は 10 月 6 日、制度の内容・加入推進の重要性について理解を深め、戸別訪問等の加入推進活動につなげるため、(独)農業者年金基金、静岡県農業協同組合中央会と共催で標記研修会を静岡市内で開いた。研修会には、加入推進部長を務める農業委員、女性農業委員のほか、農業委員会、JA の職員等 54 人が出席した。

農業者年金制度と加入推進活動の動画を視聴し、県農協中央会の鈴木満農業者年金相談員が制度の補足説明を行い、本会と県農協中央会から本年度の加入推進の取組を説明した。

また、農業者年金基金の細川嘉一室長が農業者年金制度と加入推進対策について説明した。

続いて、(株)アセット榊の榊原喜久代表取締役から「戸別訪問の事前準備・心構えと説得術」と題し講演した。

榊原代表取締役は、「加入推進活動の基本は戸別訪問であり、農業委員等の顔見知りの方が同行すると場が和む」ことや「節税に関心がある場合は、所得控除を前面にする」など関心を持っていることから説明する。

説明は「結論から」「手短に」「数字」を意識し、特に重要な説明は「ここが重要」「ここだけは覚えておいて」と強調し、目配りで反応を確かめながら一方的にならないように話すことが大事。

加入対象者の親世代は「旧制度とは財政方式が異なる積立方式だから少子高齢化でも安心」、子供がいる加入対象者の場合は「年金は本人のためでなく、家族のため」を強調することなどを話した。



講演する榊原代表取締役



研修会の様子

令和5年度農業者年金市町別新規加入者の状況

令和5年10月10日現在

(一社)静岡県農業会議

区分	令和5年度								計	達成率 (%)	目標達成
	目標数	4月	5月	6月	7月	8月	9月				
東伊豆町	1								0	0	
河津町	1								0	0	
下田市	1								0	0	
南伊豆町	1								0	0	
松崎町	1								0	0	
西伊豆町	1								0	0	
熱海市	1								0	0	
三島市	2								0	0	
伊東市	1								0	0	
伊豆の国市	2					1			1	50.0	
伊豆市	1							2	2	200.0	○
函南町	1								0	0	
沼津市	3								0	0	
御殿場市	1								0	0	
清水町	1						1		1	100.0	○
長泉町	1								0	0	
裾野市	1								0	0	
小山町	1								0	0	
富士市	3								0	0	
富士宮市	2	1							1	50.0	
静岡市	9		1						1	11.1	
島田市	4								0	0	
焼津市	1								0	0	
藤枝市	1								0	0	
牧之原市	5	1	1						2	40.0	
吉田町	1		1						1	100.0	○
川根本町	1								0	0	
掛川市	5	1				3			4	80.0	
御前崎市	1								0	0	
菊川市	2								0	0	
森町	1					1			1	100.0	○
磐田市	3								0	0	
袋井市	2								0	0	
浜松市	16	2				3		1	6	37.5	
湖西市	1			1					1	100.0	○
合計	80	5	3	1	8	3	1	21	26.3		



■ 全国農業図書刊行案内 ■

図 書 名	コード 番 号	仕様等	価 格 (送料別)
信頼される農業委員会であるために	R05-12	6 頁	75 円
2023 年版 進めよう！「地域計画」	R05-13	8 頁	100 円
2023 年度版 農家相談の手引	R05-14	128 頁	850 円
概要・メリット・申請 まるっとわかる 認定農業者制度	R05-15	12 頁	110 円
農業委員会研修テキスト 1 農業委員会制度 第 6 版	R05-16	32 頁	390 円
農業委員会研修テキスト 2 農地法 第 6 版	R05-17	41 頁	480 円
農業委員会研修テキスト 1 農地関連法制度 第 4 版	R05-18	24 頁	330 円
令和 5 年度版 よくわかる農家の青色申告	R05-21	132 頁	900 円
農業経営基盤強化促進法等 2022 年改正 三段対照式法令集	R05-22	255 頁	1,650 円
農業委員会における女性登用と女性の活躍	R05-23	84 頁	770 円
令和 5 年度版 農家のためのなんでもわかる 農業の税制	R05-24	184 頁	1,140 円
農地利用の最適化と地域計画の策定に向けて	R05-26	76 頁	550 円
改訂第 6 版 新・農地の法律早わかり！	R05-27	64 頁	850 円
国が支える、大きな安心！農業者年金	R05-28	ポケット判 12 頁	110 円
ご存じですか？「地域計画」	R05-29	2 頁	20 円
NEW 勘定科目別農業簿記マニュアル	R05-30	234 頁	2,200 円
NEW 活用しよう！農地中間管理事業	R05-32	8 頁	99 円
NEW 農家の経営簿記	R05-33	194+124 頁	1,210 円
NEW 【パンフ】農業委員・推進委員の皆さんへ 地域計画 話し合いの手引	R05-34	24 頁	220 円

■ 全国農業新聞 ■

令和 5 年 1 2 月号の申込・中止・変更の締切は、
令和 5 年 1 1 月 1 4 日（火）となりますのでよろしく申し上げます。



経営と暮らしを応援！最新の情報を発信し農業者を笑顔に輝かせます☆

全国農業新聞

全国農業新聞は、農業者の公的代表機関である農業委員会組織が発行する専門紙です。

- 特徴のある週刊新聞・・・解説に力点をおいたニュース報道と企画編集
- 時代に鋭く斬り込む・・・農政・農業・農村の動き、問題をタイムリーに
- 農業委員・推進委員に役立つ・・・農地集積、担い手対策の参考に
- 経営に役立つ・・・経営者マインドと実務情報
- 喜びや悩みを共感できる・・・読者の心に訴える
- 深みと味がある・・・単なる情報で終わらない
- 読みやすく親しみやすい・・・老若男女が楽しく読める



発行日：毎週金曜日 購読料：月額 700円、年 8,400円（消費税込）

※購読料の支払方法は、口座振替になります。

※購読の申し込みは、下記申込書にご記入のうえ静岡県農業会議まで FAX 下さい。

お問い合わせ・申込先 (一社)静岡県農業会議 TEL:054-255-7934 / FAX:054-273-4314

発行：(一社)全国農業会議所 〒102-0084 東京都千代田区二番町 9-8

情報事業の強化については農業委員の皆様の協力が必要不可欠です。
農業委員・推進委員 1人1部新規購読者の確保をお願いします。

全国農業新聞申込書

会議情報

申込日：令和 年 月 日

全国農業新聞を 部 月より申込みます。

郵便番号	〒	—	
住所			
電話番号	—	—	
ふりがな			
氏名			

■ 本紙制作の参考にいたしますので該当項目に○印をつけて下さい

役職	経営				農業者年金	
農業委員	専業	認定農業者		加入者		
推進委員	兼業	納税猶予者		受給者		
市町議会議員	非農家					
その他役職者						

※この申込書は、全国農業新聞の送付・領収の他、アンケート以外には使用いたしません。

— 静岡県農業会議は地域に密着した情報発信を目指しています。 —

V 今後の日程

- 10月 25日(水) 中部地区農地利用最適化推進研修会 (静岡市・あざれあ)
 26日(木) しずおか農業委員会女性の会 監査・役員会 (静岡市・静岡中央ビル)
 31日(火) 西部地区農地利用最適化推進研修会 (菊川市・菊川市文化会館アエル)
- 11月 6日(月) 自民党県連・自民改革会議「農林水産対策連絡協議会」 (静岡市・もくせい会館)
 7日(火) 東部地区農地利用最適化推進研修会 (伊豆の国市・葦山時代劇場)
 13日(月) 雇用就農資金事業説明会・雇用就農者育成強化セミナー (静岡市・産業経済会館)
 14日(火) 全国農業委員会都市農政対策協議会研究・協議会 (東京都・未定)
 17日(金) 地域計画策定のためのスキルマスター研修第5回 (静岡市・もくせい会館)
 22日(水) 営農型太陽光発電事業に係る研究会 (静岡市・県農業共済組合)
 22日(水) 常設審議委員会・農地利用最適化研究会 (静岡市・県農業共済組合)
 27日(月) 農業会議施策要望県議会議長等へ提出 (静岡市・県庁)
 29日(水) しずおか農業委員会女性の会総会 (静岡市・産業経済会館)
 29日(水) 農業者年金加入推進セミナー (東京都・銀座ブロッサム)
 30日(木) 全国農業委員会会長代表者集会 (東京都・文京シビックホール)
- 12月 5日(火) 賀茂地区農地利用最適化推進研修会 (下田市・下田市民文化会館)
 5日(火) 東海・近畿ブロック女性農業委員会研修会 (名古屋市)
 22日(金) 常設審議委員会・農地利用最適化研究会 (静岡市・県農業共済組合)
- 1月 22日(月) 常設審議委員会 (静岡市・静岡中央ビル)
 (下線=新規・変更)

農地利用最適の推進に関する農業委員会巡回の日程

- 10月 30日(月) 農業委員会巡回 (磐田市)

農業者年金個別相談会の予定

- | | | | |
|------------|--------------|---------------|------------------|
| 10月 25日(水) | 袋井市 (市役所) | 12月 12日(火) | 焼津市 (市役所) |
| | 26日(木) | 吉田町 (役場) | <u>1月 12日(金)</u> |
| 11月 6日(月) | 掛川市 (市役所) | <u>24日(水)</u> | 菊川市 (小笠支所) |
| | 14日(火) | 御殿場市 (市役所) | <u>24日(水)</u> |
| | | | 磐田市 (市役所) |
| 12月 11日(月) | 御前崎市 (白羽出張所) | <u>30日(火)</u> | 静岡市 (葵区役所) |
| | | <u>31日(水)</u> | 南伊豆町 (役場) |

※この情報誌(カラー版)は静岡県農業会議HPからもダウンロードいただけます。
<https://www.shizu-nou-kaigi.or.jp/>

